



平成 31 年度

公立高等学校入学者選抜

【前期】

問 題

(宮城県仙台向山高等学校)

小 論 文

(第 4 時 13 : 00 ~ 14 : 00)

注 意

学校独自検査問題は著作物であり、著作権法で保護されています。
「私的使用のための複製」、「引用」等、著作権法上認められた場合を
除き、無断で複製・転用等することはできません。

第一問 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

2018(平成30)年8月15日、平成最後の「終戦の日」を迎え、政府主催の全国戦没者追悼式が東京の日本武道館で開かれました。即位以来、皇后さまと参列を続けてきた天皇陛下にとっては御退位を控えた最後の追悼式となり、今回もお言葉を述べられました。

厚生労働省によると、全国の戦没者遺族約5,200人が参列しましたが、そのうち戦没者の配偶者は数えるほどで、兄弟姉妹も多くが80歳を超えています。また、2015年の時点で戦争を経験していない70歳未満は、日本の人口の約8割を占めています。

1945年、日本では広島と長崎への原子爆弾の投下により、多くの犠牲者が出ました。核兵器は一瞬にして多くの人々を死傷させ、被爆者に長期間の健康被害ももたらします。広島市は2012年から、長崎市は2014年から、被爆者から聞いた話を語り継ぐ「被爆体験伝承者養成事業」や「家族・交流証言推進事業」という新しい制度を始めました。

- 1 天皇陛下が、追悼式でお言葉を述べられるのは、その地位と密接に関係しています。日本国憲法では天皇の地位について、第何条にどのように定められているか述べなさい。
- 2 戦後、日本が掲げてきた非核三原則を述べなさい。
- 3 広島市・長崎市で「被爆体験伝承者養成事業」や「家族・交流証言推進事業」を始めた理由を本文の内容を踏まえ1つ答えなさい。また、この制度をあなたはどのようにとらえますか、あなたの考えを述べなさい。

第二問 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

私たちは、燃焼という化学反応を調理や暖房に利用するなど、様々な場面で生活に役立てています。この身近な燃焼がどのような反応なのかが解明されるまで、多くの科学者が考えをめぐらせました。

歴史的にみると、18世紀末までは「燃素(ねんそ)説」が一般的でした。この説は、燃える物質は灰と「燃素」からできていて、燃焼では「燃える物質－燃素＝灰」の反応が起こり、「燃素」が放出されるというものです。しかし、金属の燃焼において質量が大きくなることは燃素説で説明できませんでした。その後、燃焼とは燃える物質が酸素と結びつく反応であることが明らかになり、燃焼のしくみについての考え方が燃素説から移り変わっていくこととなります。

- 1 炭素が燃焼するときの化学反応式を答えなさい。
- 2 下線部について、なぜ燃素説で説明できなかったのか述べなさい。
- 3 自然現象の解明をしたり、新しい理論を発見したりするためにはどのようなものの見方・考え方が必要でしょうか。本文の内容を踏まえて、あなたの考えを述べなさい。

第三問 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

長い歴史のなかで、私たちは、文字を用いたメッセージの伝達をしてきました。歴史や物語、和歌などは文献という形で時空を超え、現在も受け継がれています。

個人的なメッセージの伝達をする際、手紙は通信手段として大きな役割を果たしてきました。しかし、現在は、①手紙とは異なるかたちで、より簡単に文字を用いたメッセージの伝達をすることができ、私たちの言語生活のなかで、次第に手紙を書く機会が減ってきています。手紙は消えゆく伝達方法なのでしょうか。一方で、送る相手やその目的によっては手紙の方がふさわしいという考え方もあります。内容を伝える手間と時間という観点では、他の伝達方法が確実に優れていると思われそうですが、②季節のあいさつのはがきなど、社会習慣として手紙が定着しているものもあります。よって手紙が消滅することは現時点ではなさそうです。

- 1 下線部①の方法にはどのような方法があるか。例を1つ挙げ、手紙と比べ、どのような点が簡単であるか説明しなさい。
- 2 下線部②について、具体例を1つ挙げ、それにはどのような良さがあるか述べなさい。
- 3 下線部①の方法と手紙とをどのように使っていくことが求められますか。本文の内容を参考にしてあなたの考えを200字以内で書きなさい。